

平成 27年 06月 01日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

南部快適木の家

グループの名称

南部家造りひかり会

直近採択グループ番号

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

小幡 千裕

代表者印

代表者所属先

小幡建設工業 株式会社

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

青森県八戸市城下四丁目22番33号

代表者電話番号

0178-22-1121

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 吉田産業

事務局構成員番号

III-1, V-1, VII-1, VIII-1

事務局担当者名

菊池 三弥

印

事務局郵便番号

031-8655

事務局所在地

青森県八戸市大字廿三日町2番地

事務局電話番号

0178-47-8111

事務局FAX

0178-47-8121

事務局担当者E-mail

m-kikuchi@yoshidasangyo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	南部快適木の家
2. グループの名称(必須)	南部家造りひかり会
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	青森県 岩手県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	小幡 千裕
7. グループ代表者の所属先(必須)	小幡建設工業 株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	青森県八戸市城下四丁目22番33号
10. グループ代表者電話番号(必須)	0178-22-1121
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 吉田産業
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	Ⅲ-1, V-1, VII-1, VIII-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	菊池 三弥
14. グループ事務局郵便番号(必須)	031-8655
15. グループ事務局所在地(必須)	青森県八戸市大字廿三日町2番地
16. グループ事務局電話番号(必須)	0178-47-8111
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0178-47-8121
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	m-kikuchi@yoshidasangyo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	5	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	2	
V. 設計	7	
VI. 施工	12	
VII. 省エネルギー設備等の流通	1	
VIII. 木材を扱わない流通	1	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	杉・唐松	青森県	青森県産材認証制度	1	国内
	杉・唐松	岩手県	岩手県産材認証制度	1	国内
	合法木材	国外	合法木材証明制度	3	国外

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店＋未経験工務店の合計 33 戸		地域材加算合計 33 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計 22 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計 11 戸		
	うち申請が確実 11 戸	うち申請が確実 4 戸	地域材加算(うち申請が確実) 15 戸	
	うち申請が未確定 11 戸	うち申請が未確定 7 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 18 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 19 戸	地域材加算合計 0 戸		
	うち申請が確実 8 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 11 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 0 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 2 戸	地域材加算合計 0 戸		
	うち申請が確実 1 戸	地域材加算(うち申請が確実) 0 戸		
	うち申請が未確定 1 戸	地域材加算(うち申請が未確定) 0 戸		
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物			
	うち申請が確実 0 棟	0 m ²		
	うち申請が未確定 0 棟	0 m ²		

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	実績の無い施工店を優先して配分し、そのうえで受注が確実な施工店を優先する。			
--	---------------------------------------	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数 戸	交付申請戸数 戸	竣工済 戸	竣工予定 戸
	木造建築物			
	採択棟数 棟	採択床面積 m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域 <small>(必須)</small>	<small>(地域型住宅の名称)</small> 南部快適木の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年 <small>(必須)</small>	<small>(グループの名称)</small> 南部家造りひかり会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 <small>(必須)</small>	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	住宅の気密・断熱化を重視し、耐久性をより向上させると共に、一次消費エネルギーの消費を抑え、平成25年省エネ基準に適合した長寿命住宅を設計・施工する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	青森県、岩手県産材認証制度の地域材と合法木材を可能な限り使用し、快適で健康で安心して暮らせる家造りをする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	建築場所の近隣の状況と施主の要望を加味し、より満足される様な自由設計を基本とする。	◎
④①～③の背景	当地は寒冷地であり断熱した住宅が主流であるが、まだまだ内部結露や表面結露などにより、劣化に伴い短い年数でリフォームをしている現実がある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	施主との打ち合わせにおいて、内・外装へも積極的に県産材・合法木材を取り入れる。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	施主との打ち合わせにおいて、内装材に県産材が使用出来ない場合は、室内環境にも配慮し、ホルムアルデヒド吸着分解石膏ボードや普通硬質石膏ボードの使用を検討する。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	建材や住設機器の共同購入によりコストを削減に取り組む。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	合理化委員会を設置して品質向上に取り組む。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	合理化委員会の招集と申請手続きのサポートをする。	◎
b		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	第三者機関を利用し、基礎配筋検査・躯体金物防水検査を施工基準とする。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	地盤調査を必ず実施し、施主に対し公開して調査結果に応じた地盤補強をする。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	外皮性能計算書と一次エネルギー消費量計算書を見積書へ添付する。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	施工店自社ホームページや広告媒体を利用して現場構造・完成見学会開催を告知し、住宅建築費用負担以上のメリットがある旨を来場したユーザーに告知する活動を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	気密測定を義務化し、0.5cm/m2以下を目標値とする。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 <small>(必須)</small>	<small>(地域型住宅の名称)</small> 南部快適木の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年月 <small>(必須)</small>	<small>(グループの名称)</small> 南部家造りひかり会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 <small>(必須)</small>	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	物件毎に住宅履歴情報機関を活用し、定期点検の時期を施主に告知する。点検内容については、履歴情報機関の方式によるものとする。	◎
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	維持管理計画書を作成し、計画に基づいて定期的な点検を行う。	○
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	現場引渡し時や施工店のお客様感謝祭などで継続的に実施する。	○
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	維持管理のやり方の勉強会を開催する。	◎
b		
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	事務局に相談窓口を整備する。	○
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	瑕疵保険会社を出来るだけ一本化し、チェック項目や対処の仕方を共有する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	事務局に施主向けの相談窓口を開設する。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	設計・施工に関するグループ内での勉強会の開催と外部の講習会を利用する。	◎
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	現場契約進捗状況の確認や外部講習会の開催案内の告知の都度、必要に応じて開催する。	◎
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	未経験施工店に対し、上記①②を継続して実施し、レベルアップを図る。	○
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	施工店は、合理化委員会の内容を周知して向上に取り組む。	○
b		
①省エネ技術講習会への参 加目標人数	未受講施工店と受講済施工店の職人へも参加を促す。目標10名。	◎
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	事務局が省エネ技術講習会開催の情報提供を行い、上記①へ受講を促して受講者を把握する。	◎
c		
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	他地域グループへの研修旅行や意見交換会を開催し、技術力の向上を図る。	○
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	上記①により情報を共有する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	追加登録を希望する施工業者は、省エネ技術講習会への参加の有無を確認する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部快適木の家	(地域型住宅供給対象地域) 青森県 岩手県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南部家造りひかり会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	○
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
<p>地域材供給の流れ</p> <p>合法木材認証取得業者が納材の際、合法である旨の納品書及び合法証明書を提出することで合法性の証明を行う。</p>		
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組	○
	②グループ全体における地域材の需給予測	○
c	①-1 量の活用	○
	①-2 和瓦の活用	○
	①-3 棟の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	④和の住まいの要素を取り入れた取組	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	○

その他

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地域の木材や資材の使用と補助金を活用し、長期に渡り快適で健康で安心な住宅を建築できる旨の情報提供をする。	○

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

長期優良住宅

劣化対策
耐震性
住戸面積
維持保全計画
居住環境
外皮の高断熱化
維持管理・更新

認定低炭素住宅

低炭素の措置
市街化区域等
木造住宅
外皮の高断熱化
高効率設備
一次エネルギー消費量
-10%
<給湯>
<冷暖房>
<換気>

ゼロ・エネルギー住宅

省エネ設備
太陽光パネル、燃料電池等
外皮の高断熱化
高効率設備
エネルギー削減イメージ
エネルギー削減量
従来の住宅の一次エネルギー消費量
改善に向けた削減
削減の削減効果
エネルギー削減量

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。